

平成25年度 事業実施結果一覧

種別	No	事業名	新・継 (年数)	事業種類 1	事業種類2	事業のわらい	主な実施内容	期 間	対 象	募集 人数 (人)	参加 人数	連 携	
プログラム開発事業	1	海の冒険シリーズ① キッズ海のたんけんたい	3	教育事業	プログラム開発事業	・若狭湾の自然の中での体験活動を通して、意欲の向上や自主・自律の精神を養いながら、意欲の向上と人間関係の育成を目指す。 ・発達段階に応じた海プログラムの組み立て手法や安全管理手法を確立し、他施設での活用に役立てる。	①スノーケリング、キャンプファイヤー	平成25年7月20日(土)～7月21日(日)	小学1・2・3年生	①20	①20		
	2	海の冒険シリーズ② 若狭湾 海の自然学校					②スノーケリング・シーカヤック・野外炊事・テント泊・海中釣り	②平成25年8月18日(日)～8月24日(土)(6泊7日)	①小学4・5・6年生	②20	②20	地元(大熊・阿納・西小川)漁協	
	3	海の冒険シリーズ③ 自然学校同窓会					③室内スポーツ・保護者との語り合い・思い出クラフト	③平成26年2月1日(土)～2月2日(日)(1泊2日)	②参加者と保護者	③40	③39		
	4	若狭の自然の中で (不登校児童生徒支援事業) ～東海市との連携～	4	教育事業	プログラム開発事業	・課題を抱える児童・生徒が、若狭湾の雄大な自然の中で心身をリフレッシュするとともに、参加者同士や参加者とボランティアの交流を図り、チャレンジしようとする意欲を高める。 ・課題を抱える児童・生徒が自然体験活動を通して、より良い効果を得られるようなプログラム開発を行い、近隣青少年教育施設・教育委員会・学校等にプログラムの提供及び発信をしていく。	浜遊び・夕日観察・磯観察・グラスボート・シーカヤック・スノーケリング	平成25年9月14日(土)～9月16日(月)(2泊3日)	小学生・中学生	15	22	愛知県東海市教育委員会	
	5	中部・北陸ブロック 次長プロジェクト 「課題を抱える子どもの体験活動に関する調査研究」	4	教育事業	プログラム開発事業	・5教育拠点で行う「課題を抱える子どもの体験活動に関する調査研究」事業を対象に、青少年の各年齢期における体験活動において「人間関係能力を高める教育プログラム」を開発する。体験活動の効果を測定する検証方法を確立し、その教育プログラムの有効性を検証する。		通年	対象事業への参加者				
	6	海の活動が子どもたちに与える教育的効果に関する研究	5	教育事業	プログラム開発事業	・スノーケリングを中心とする海の活動が青少年の体験活動においてどのような教育的効果をもたらすのかについて調査し、より効果を高める海の活動プログラムを開発する。 ・検証結果については水辺活動実施施設に発信し、活用されることをねらう。		通年	直接指導の参加者				
国際交流事業	7	交流は海を越えて (日韓環境交流事業) ～南ソウルスとの連携から～	4	教育事業	国際交流事業	・韓国学生と日本の学生・市民がディスカッション、フィールドワーク、文化紹介等を通して環境問題とお互いの文化についての理解を深める。フィールドワークは日本海沿岸を北上しながら、対馬海流によって大陸から流されてきた漂着ゴミの回収を中心とした海浜清掃作業を各地で行う。 ・交流を通して、日韓のそれぞれの文化や歴史について見聞を深めるとともに、次世代リーダーの育成を目指しながら交流の輪を広げる機会とする。	バスで日本海沿岸を移動、各所で交流及び海岸清掃、伝統文化体験他	受け入れ平成25年12月21日(土)～27日(金) 派遣平成27年1月9日(木)～14日(火)	学生・社会人	30	29	南ソウル大学 福井県立大学	
指導者養成事業	8	ボランティア養成セミナー	12	教育事業	指導者養成研修事業	・青少年野外教育施設等でのボランティア活動の役割について理解を深めるとともに、ボランティア活動に対する意欲を高める。また、当施設でのボランティア活動に必要な知識や技能を習得する。 ・ボランティアに必要な知識や技能、ボランティア養成に関わる研修会のノウハウについて、公立施設等に発信していく。 ・公立施設でも活躍できるボランティアの育成を目指す。	青少年の理解・体験学習法・ボランティアの意義・救命救急法・シーカヤック・ボランティアの理解・施設の現状・野外炊飯	平成25年5月3日(金)～5月5日(日)(2泊3日)	高校生・高等専門学校生・専修学校生・各種学校生・大学生・社会人	30	33	福井県青少年教育施設協議会	
	9	自然体験活動教員養成研修会	2	教育事業	指導者養成研修事業	・学校の実施する自然体験活動において、教育効果の高い自然体験・生活体験活動の機会を提供するために、プログラム計画立案、活動時の全体指導を行う教員を養成する。 ・自然体験活動指導に必要な知識や技能、及び研修会のノウハウについて、公立施設等に発信していく。	学校における体験活動の意義・教育課程と体験活動の関連性・救命救急法・自然体験活動の意義・安全管理・体験活動の指導法・プログラムの企画立案	平成25年7月31日(水)～8月1日(木)(1泊2日)	小浜市内の教員	15	24	若狭三方縄文博物館 福井県立三方青年の家 小浜市教育委員会	
	10	教員免許状更新講習	新規	その他の事業	指導者養成研修事業	・学習指導要領と体験活動の関わりを理解するとともに、実際の自然体験活動を通して安全に配慮した指導方法を体得し、体験活動の意義や効果を理解する。	地域の教育資源を活かした体験活動、ワークショップ	平成25年10月26日(土)～10月27日(日)(中泊)	福井県嶺南地区の教員	20		嶺南教育事務所	
普及啓発事業	11	漁家体験シリーズ ～食文化の伝承～ ①へしこ作り	9	教育事業	普及啓発事業	・若狭地方の伝統的スローフードを通して食文化についての理解を深めるとともに、地元ならではの食文化の大切さを発信する。 ・漁家の生活体験及び交流を図る。 ・他施設との連携を図るとともに、地域等との合同事業を想定したプログラムの企画・運営のノウハウを発信する。	①講話・漁家での鯖へしこ作り・磯釣り体験	①平成25年4月20日(土)～4月21日(日)(1泊2日)	子どもを含む家族 その他希望者	各40	①45 ②31	田島観光協会	
	12	漁家体験シリーズ ～食文化の伝承～ ②なれずし作り					②講話・漁家での鯖なれずし作り・磯釣り体験・干物作り	②平成25年11月2日(土)～11月3日(日)(1泊2日)					

種別	No	事業名	新・継 (年数)	事業種類1	事業種類2	事業のねらい	主な活動内容	期 間	対 象	募集 人数 (人)	参加 人数	連 携
普及啓発事業	13	わくわく体験塾 ～来て見て感じて若狭の香り～	13	教育事業	普及啓発事業	・若狭地域の歴史・文化等を知り、そのすばらしさに気づく。 ・海の活動を通して、海のすばらしさや環境について学ぶ。 ・近隣の施設の特徴を生かしながら、若狭域における魅力的なプログラムを構築する。 ・近隣施設を通して、連携先の拡充を図っていく。 ・ボランティア交流を図り、地元のジュニアリーダーの育成をする。	古墳探検・磯釣り・磯鍋・カッター・ナイトハイク・キャンプファイヤー・勾玉作り・野外炊飯・ビザ作り	平成26年10月12日(土) ～10月14日(月)	小学4年生～中学生	25	28	福井県立若狭歴史民俗資料館 福井県海浜自然センター 福井県立三方青年の家 若狭三方縄文博物館
	14	自然体験活動プログラム訪問 相談会～京都市立の小学校を 中心に～ <継続>	2	教育事業	普及啓発事業	・学校教育につなげる体験学習法のポイントを発信する。 ・長期宿泊体験学習に有効なプログラミングの情報交換を行い、ポイントのアドバイスを行う。	・当所の活動に関する説明、プログラム立案に関する支援ほか	平成27年2月上旬～4月上旬	京都市内の学校で、当所でH26年度実施予定または実施を考えている学校の教員等	約 10 校	5 校	京都市校長会
子どもゆめ基金体験の風リレーションシップ事業	15	かがく体験in若狭湾	新規	その他の 事業	子どもゆめ基金体験の風 リレーションシップ事業	・本施設や他施設の科学体験活動を通して、その活動の魅力伝える。 ・科学体験を通して、家族や仲間との交流を深める。	ロボット操作体験、科学実験、塩作り・バルーンアートなどの交流	平成25年4月28日(日) (日帰り)	保育園児、幼稚園児、小学生、中学生とその家族	100	110	国立舞鶴工業高等専門学校 福井県原子力センター
	16	若狭湾フェスティバル	5	その他の 事業	子どもゆめ基金体験の風 リレーションシップ事業	・当施設の職員が指導や支援に直接関わることにより、参加する家族が青少年教育施設での活動や生活を体験し理解する機会を提供する。 ・若狭湾での海や山、室内の活動プログラムに家族で取り組むことにより、家族の相互理解や絆を深めるとともに、家族同士の交流を図る機会を提供する。 ・日程や家族プログラムの大枠を予め当施設が作成することにより、研修支援事業での家族利用の新しい方法について試行し、今後の活動に活かす。	ボート・カヌー・スノーケリング・シーカヤック・磯釣り・磯鍋・遊びリンピック・読み聞かせ・各種クラフトほか	平成25年10月5日(土) ～10月6日(日) (1泊2日)	家族	300	184	国立青少年教育振興機構 中部北陸ブロック5施設 国立舞鶴工業高等専門学校 若狭三方縄文博物館
	17	われらトビーの大家族	5	その他の 事業	子どもゆめ基金体験の風 リレーションシップ事業	・親子で体操等の活動することにより、健康増進と親子関係の向上を図る。 ・春の若狭湾の自然のすばらしさと当所のアクティビティの魅力伝える。 ・教育事業及びび活動プログラム等の運営ノウハウについて近隣青少年教育施設との交流をし、活用連携を行う。・音楽を通して家族や仲間との交流を深め、仲間の大切さを知る。	親子体操・ミニコンサート・人形劇ほか	平成27年3月8日(土) ～3月9日(日) (1泊2日)	家族	300	未定	
利用促進事業	18	国立若狭湾青少年自然の家所 長杯 観音ゲートボール大会	9	その他の 事業	利用促進事業	・ゲートボールをとおして、若狭湾地域住民の親睦を図り、更に地域の活性化、発展に寄与することを目的とする。 ・小浜市、若狭町、美浜町など近隣のゲートボール協会との連携・ネットワーク作りを努め、幅広い利用拡大を目指す。	ゲートボール大会	平成26年1月上旬 ～3月上旬	小浜市、若狭町、美浜町に在住のゲートボール チーム	40 チーム	47 チーム	